

[会報「細胞生物」
最新号Contents](#)[会長挨拶](#)[過去の細胞生物の
Contents](#)[巻頭言](#)[CSFニュース](#)[Communication](#)[集会掲示板](#)[賞および研究助成](#)[議事録](#)[計報](#)[特別会員](#)

巻頭言 Vol.17 April

はじめまして、平岡です

平岡 泰 (情報通信研究機構)

このたび、今本さん・水島さんと共に、学会の幹事を務めることになりました。中野会長から打診があった時、「私では務まりません」と固辞はしたのですが、（中略）、引き受けることになりました。その後、今本さんが打診を受けて、彼女は「私と平岡さんでは学会がつぶれます」と私を巻き添えに固辞したそうで、身に余る光栄です。かくも承知の上で、なお幹事をやれということであれば、やらぬわけにはいかないと思います。

とはいうものの幹事になって幾つかの職務をこなしました。最初の仕事は、会員名簿の流出問題でした。流出のせいで、（中略）、皆さん勧誘の電話に悩まされているようなので、私の手をいくつか紹介することにします。

（事例1）割に気に入っている手

私「今、工作中なので、そのような話はできません」

勧誘「お仕事が終わってから、お話しさせてください。いつ終わりますか」

私「科学者の仕事に終わりは無いんです」（電話切る）

（事例2）納得しないで欲しい手

勧誘「でも、お金もうけたいでしょ」

私「もうけたくありません」

勧誘（しばし沈黙の後）「お仕事は何ですか」

私「科学者です」

勧誘「ああ」（電話切れる）

（事例3）機械音声の振りをする手

勧誘「・・・に興味ありませんか」

私「全く興味ありません」

以後、先方が何を言っても、抑揚なく単調に「全く興味ありません」だけを繰り返す。かみ合わないことが重要。電話が切れるまで繰り返す。

（事例4）危険なのであまり勧めない手

（カーペットクリーニングの勧誘に対して）

勧誘「カーペットクリーニングいかがですか」

私「ちょうどよかった。すぐ来てくれ。カーペットが血まみれなんだ。警察が来る前に片付けてくれ」

勧誘（しばし沈黙の後、電話が切れる）

相手に電話を切らせるのが上級編ですが、皆さん、くれぐれも名簿を売らないでくださいね。

次に引き受けた仕事は、男女共同参画学協会連絡会の担当です。私はあまり適任で

はないと思うのですが、（中略）、やってみます。どうも老若男女に関わる問題意識が希薄な気がして心配です。ただ、女性が働きやすい職場環境というのは、男性にとっても働きやすい人間的な環境だと思います。

さて、次の仕事です。昨今、色覚バリアフリーの啓蒙が進んでいますが、この機会に相貌失認バリアフリーを提言したいと思います。実は、私には軽い相貌失認があるらしく、顔の認知に若干の困難があるようです。登場人物が見分けられなくてストーリーが追えないため、ドラマが見られません。このような人は50人に1人くらいおり、重度の人は家族の顔も認知できないそうです（それ以外の知的障害は無いにもかかわらず）。人と接する場面で少し困ることがあります。何度も顔を合わせているはずの人でさえ、認知していないことがあり、無視されたように思う人もいます（介護者が付き添っている時はこっそり教えてもらうのだが）。見覚えがあるが名前が思い出せないのではなくて、見覚えがない。顔が認知できないだけで、名前がわかればその人物は記憶しているし、見覚えて一度意識に定着した認証済みの顔は忘れない。そこで対策として、旧知と思っても初対面のつもりで名乗る（相貌失認でない人は、からかわれていると思うかもしれない）。学会では期間中ずっと同じ服を着続けてもらえるとありがたい（できれば一人一人色彩のきわだった目立つ服装で）。名札は5メートル先から名前が読める大きなものと助かる（くれぐれも裏返しにしない。あるいは両面に名前を）。どうも健常者からは、まぬけにしか見えないような気もするので、実現はむずかしいかもしれない。

[↑ページトップへ](#)